

平成27年度当初予算(案)の概要

★予算規模

一般会計 2,825億円(対前年度 63億円増 +2.3%)

全会計 6,037億円(対前年度 233億円増 +4.0%)

★予算編成のポイント

第3次総合計画スタート

- ◆新たにスタートする第3次総合計画を着実に推進する積極予算を編成
- ◆国の新制度を踏まえ、地域のニーズに対応した子ども・子育て支援を強力に推進(295.6億円 対前年度 63.7億円増 +27.5%)
- ◆静岡市の地方創生総合戦略(H27.10月までに策定予定)を先取りする人口減少対策を措置(1.6億円)
- ◆アセットマネジメントなど第3次行財政改革推進大綱に基づく取組や区役所機能の強化を予算に反映

予算編成の基本的な考え方

「歴史文化」と「健康長寿」をキーワードに、3次総重点プロジェクトに予算を重点配分

「創造する力」による都市の発展 (産業・経済の振興)



1 歴史都市

18.6億円

悠久の歴史を誇りとして活かした
風格のあるまちづくりの推進



2 文化都市

34.2億円

人々が訪れてみたいと憧れを抱く
個性あるまちづくりの推進

○清水港ウォーターフロントの活性化と整備推進

- ①海洋文化の拠点づくりと「みなと」と「まち」が一体となった回遊性の向上
- ②清水中心市街地の賑わい創出
- ③江尻地区ペDESTリアンデッキの整備

○「オクズ」地域おこし条例に基づく地域活性化の推進

- ①「地域おこし協力隊」の受け入れ促進等

○「しずまえ」鮮魚の普及・振興

○茶どころ日本一計画の推進

- ①全国お茶まつりの開催
- ②静岡市特産茶の戦略的輸出支援等

○徳川家康公顕彰四百年記念事業の実施

(「駿府天下泰平まつり」等)

○駿府城公園エリアの整備の推進

- ①駿府城「天守台・天守閣」の再建調査
- ②駿府城公園の「桜の名所」化
- ③集客力の高い「歴史文化施設」の整備の推進

○「二峠六宿」(東海道歴史街道)による交流人口の拡大

○「三保松原ビジターセンター」の整備と松原の保全



3 中枢都市

78.0億円

世界中から多くの人が集まる
求心力の高いまちづくりの推進

○首都圏等からの移住・定住の促進

- ①首都圏での情報発信拠点「(仮称)静岡市移住促進センター」の開設
- ②静岡市育英奨学金の拡充とふるさと回帰のための奨学金免除制度の創設
- ③定住促進のための新幹線通勤助成等の検討

○交流人口の拡大

- ①「日本・スペイン・シンポジウム」in日本平の開催
- ②G8サミット誘致、オリンピック・パラリンピック等の合宿誘致
- ③静岡市の都市ブランドの確立検討等

○戦略産業の振興と企業立地の推進

- ①戦略産業への集中的な支援・育成
- ②企業立地促進事業助成の充実等
- ③大谷・小鹿地区等の企業立地用地の検討調査等

「つながる力」による暮らしの充実 (安心・安全の確保)

4 健康都市

146.2億円

市民が住み慣れた地域で
暮らし続けられるまちづくりの推進

5 防災都市

192.9億円

様々な危機に備えた減災力が高い
安心・安全なまちづくりの推進

○南海トラフ巨大地震に備えた災害対応力の強化

- ①津波避難施設の整備と公共施設等の耐震化の推進
- ②防災情報・防災教育の強化と避難体制の整備

○昨年の台風18号被害等を踏まえた防災減災対策の推進

- ①緊急情報防災ラジオの普及促進
- ②災害に対する危機管理体制の強化(上下水道局庁舎災害時活動拠点の整備等)
- ③台風災害に備えた道路・河川・農林道等の緊急改良

○浸水・土砂災害対策の拡充等

- ①急傾斜地崩壊対策の拡充
- ②浸水対策推進プランの着実な実施
- ③市立高等学校の雨水貯留施設の整備

○3市2町の消防救急広域化による消防防災体制の強化等

○静岡型子ども・子育て支援の推進

- ①局間連携による認定こども園、放課後児童クラブ・子ども教室の整備の推進
- ②待機児童の解消に向けた受入枠の拡大(+1,163人)
- ③放課後児童クラブの開設時間の延長
- ④子育て世代包括支援センターの設置
- ⑤子どもの貧困対策の積極的な展開
- ⑥学校教育現場への支援の拡充

○静岡型地域包括ケアシステムの構築

- ①介護支援ボランティアポイント制度の創設(元気いきいき！シニアサポーター事業)
- ②清水病院地域包括ケア棟等の整備

○健康都市の実現に向けた基盤整備

- ①歩いて楽しいまちづくりの推進(駿府城公園周辺地区歩行者優先の空間づくり検討(社会実験等))
- ②自転車を利用しやすいまちづくりの推進(三保地区自転車走行空間ネットワーク整備等)

○清水病院の医師確保に向けた医学生奨学金制度の創設

○国民健康保険料の引下げと疾病予防のための保健事業の拡充



6 共生都市

30.3億円

あらゆる人々が多様性を尊重し
共に暮らすまちづくりの推進

○南アルプスユネスコエコパークの保全と活用による人と自然との共生

(南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画の推進)

- ①南アルプスの自然環境の保全
- ②南アルプス登山道の整備
- ③林道条例を踏まえた林道東俣線管理ゲート施設等の整備
- ④井川少年自然の家のリニューアル(「南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家」)

○女性の活躍の推進

○英語教育の拡充等による多文化共生の推進

○「(仮称)静岡シチズンカレッジ」による地域リーダーの養成

